

「みどり・市民ネット」は「●市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現●市民にわかりやすく開かれた議会をめざす●地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機関として議会を活性化●それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重し協力・協働」を基本姿勢とする超党派の6人会派です。所属議員は独自に活発に活動しています。

片山かおるの ちょっとカエル通信

2013年1月28日

40号



子どもが暮らしやすい町はおとなもきっと暮らしやすい!

小金井市議会議員

第一回定例議会がはじまります!

子どもの権利に関する条例は、果たして有効に活用されたのか?

片山かおるの一般質問

2月8日午後2時より

1 2009年の施行以降、「子どもの権利に関する条例」がどのくらい有効に活用されたのかを検証する

- ①子ども福祉施策全般でどのような役割を果たしたか?
- ②教育施策の中ではどのような役割を果たしたか?
- ③市の全体の施策の中ではどのような役割を果たしたか?
- ④今後、条例の有効活用について、どのような検討がされているか?

2 環境配慮住宅型研修施設(旧雨デモ風デモハウス)の有効活用について

- ①エクセルギーの理念を体現する名称「雨デモ風デモハウス」が採用されなかったのはなぜか? エクセルギーの理念をそもそも市はどのように把握しているのか?
- ②市民協働で作り上げられて来た経過をどのように評価しているのか?
- ③今年度の施設活用の状況と来年度の管理、活用について。地球温暖化防止、環境施策と市民協働の最先端として、市民とともにどのように有効活用していくのか?

☆来年度の一般会計予算は371億6500万円。今年度より2億2000万円増。国の予算動向がわからない中での予算編成です。児童虐待への対応強化のため子ども家庭支援センターの体制を再構築。児童発達支援センターの開設。スクールソーシャルワーカーの固定配置など、子どもに関する予算や市政55周年関係事業が多く見られます。

☆「脱原発都市宣言」をしてほしいという陳情が、閉会中の総務企画委員会で全員一致で採択。本会議でも可決される見通しです。今定例会中に宣言できれば、三多摩でも先駆的な事例となります。

片山かおるプロフィール

1966年生まれ。2009年より市議会議員。総務企画委員、ごみ処理施設建設等調査特別委員、青少年問題協議会委員、小金井市土地開発公社評議員会評議員、議会報編集委員。市民自治こがね共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。市民自治をめざす三多摩議員ネット、自治体議員政策情報センター、緑の党、福島原発震災情報センター、全国フェミニスト議員連盟共同代表、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワークなどにも参加。

片山かおる連絡先

小金井市中町3-10-103 tel:042-316-1511

<http://katayamakaoru.net>

office@katayamakaoru.net

ツイッター&フェイスブック → 「片山かおる」で検索!

ご意見・ご感想をお寄せください。